

# 歯周治療学

講師	富永尚宏	実施時期 単位数	第2学年前期 2単位 (30時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。				
授業概要	歯科衛生士にとって、歯周治療学は一番重要な科目です。基礎的な知識が臨床に最も直結する分野のひとつです。エビデンスに基づいた歯周治療の技術を身に着けることが重要です。しっかりとした理論武装は臨床の現場において心強い助けになります。実際の臨床例を用いて歯周治療を理解しながら知識を身に着けていけるようにしていきます。				
学習方法	講義・実習				
成績評価の方法	定期試験 90%, 小テスト10%, の総合評価				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「歯周病学」 医歯薬出版				
履修上の注意	教科書とそれに合わせた実際の症例の写真・動画を供覧しながら授業を進めていきます。少なくともその回の教科書は読んで予習をしておいてください。適宜口頭試問で理解度を確認していきます。確実に知識をつけていけるよう努力してください。分からないことがあれば、その場で質問してください。				
参考書	天野敦雄 著「歯科衛生士のための21世紀のペリオドントロジーダイジェスト」クインテッセンス出版 丸森賢二 編「ブラッシング指導Q&A92」 医歯薬出版 内藤 徹 著「知って得した！歯周治療に活かせるエビデンス」クインテッセンス出版 山本浩正 著「Dr.Hiroの実践！歯周治療」クインテッセンス出版				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	歯周病専門医資格を持ち、日常臨床でも歯周病治療に積極的に取り組み、実績を歯周病学会で定期的に発表している。歯科研修医の指導も18年行っており、その経験を踏まえて実際の歯周病の臨床と基礎的教育を関連付けながら歯科衛生士に必要な教育を行っていく。				

## 授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	歯周治療とは	歯周病の有病状況、歴史的変遷、歯周治療の意義、目的を理解する。
2	正常な歯周組織の構造と機能	歯周組織の構成要素、防御機構、再生能力、加齢変化を理解する。
3	歯周病の分類	歯肉炎と歯周炎の違い、歯肉病変、歯周病の分類について理解する。
4	歯周病の原因、歯周医学	歯周病の原因、歯周医学インプラント周囲炎について理解する。
5	歯周治療の進め方	歯周病の予防法、歯周治療の基本的考え方、進め方、内容、概略を理解する。
6	歯周病の検査	一般検査による判定法、歯周組織の破壊程度の診査法を理解する。
7	歯周基本治療	歯周基本治療の目的、内容、方法、歯科衛生士の役割について理解する。
8	歯周外科治療・種々の歯周外科治療	歯周外科治療の目的、分類、適応、使用器具、術後の注意点を理解する。
9	歯周治療としての口腔機能回復治療	歯周治療における咬合調整、矯正治療、固定法、補綴治療の意義を理解する。
10	メンテナンス	メンテナンスの重要性、意義、患者教育、位置づけを理解する。
11	歯科衛生士の役割:歯周治療の進め方 ～スケーリング・ルートプレーニング	歯周治療を進めるに当たり、基本処置を含めて歯科衛生士の役割を理解する。
12	歯科衛生士の役割:歯周外科治療	歯周外科治療における歯科衛生士の行うべき事項を具体的に理解する。
13	実習:超音波スケーラーの使用法	歯石除去のためのスケーラーチップの角度等、根面への当て方を理解する。
14	実習:ルートプレーニングの実際、キュレットの使用法	実際の歯石の硬さを体感する。歯根面へのデリケートな操作を体得する。
15	歯科衛生士の役割:メンテナンス、SPT	メンテナンスで行うべき事項を具体的に理解する。